

保健事業報告

健幸まちづくり推進協議会資料

事業	令和3年度まとめ	令和4年度計画
母子保健事業	<p>1. 乳幼児健康診査事業 乳児前期健診 対象者 135人 受診者134人 受診率99.3% 乳児後期健診 対象者 156人 受診者151人 受診率96.8% 1歳8ヵ月児健診 対象者 155人 受診者151人 受診率97.4% 2歳5ヵ月児健診 対象者 188人 受診者183人 受診率97.3% 3歳5ヵ月児健診 対象者 194人 受診者188人 受診率96.9%</p> <p>2. 健康相談・健康教育事業 子育て相談 参加者 延343人、離乳食教室 参加者 延41組 1歳すくすく教室 参加者 延28組 ハッピー親子教室 参加者 延81組 パパママ教室 参加者 延62人(パパ30人・ママ32人)</p> <p>3. 家庭訪問(延) 妊産婦 159人 乳児期 157人 幼児65人 その他 8人</p> <p>4. 予防接種事業 BCG 139人、4種混合 539人、2種混合 182人、 MR1・2期 359人、ヒブ540人、小児肺炎球菌539人、 日本脳炎Ⅰ期 436人、日本脳炎Ⅱ期 99人、水痘303人、 ロタ283人、B型肝炎406人、子宮頸がん165人 風しん抗体検査190人、 風しん5期(風しん抗体価が低い人が対象)60人 風疹予防接種助成 38人(うち男性6人)</p> <p>5. 産前産後支援 母子手帳交付 151件(双子3件) 妊婦面接(転入者含む)166人 マタニティ訪問(希望者のみ) 69人(産後訪問含む) 電話ヒアリング 22人 妊婦歯科健診 71件 妊婦健診受診実人数 231人 延1,742件 産婦健診受診実人数 140人 延236件 産後ケア利用者 1人</p> <p>6. その他 不妊治療給付 68件(延)、34人(実)(うち男性3人) フッ素塗布 172人 養育医療実人員 2人、延9件</p>	<p>1. 産前産後支援 妊娠届出時全数保健師等の面接を行う。 希望者にはオンライン(ZOOM)による面談、相談実施。 妊婦健診、妊婦歯科健診、産婦健康実施。 産後ケア事業継続実施。 産前産後サポート事業(マタニティ訪問)実施。</p> <p>2. 乳幼児健康診査事業 乳児前期健診、乳児後期健診、1歳8ヵ月児健診、 2歳5ヵ月児健診、3歳5ヵ月児健診を毎月実施。</p> <p>3. 健康相談・健康教育事業 子育て相談: 予約制で4保健福祉センターで毎月1回実施。 離乳食教室: 人数制限を設け、毎月1回実施。 1歳すくすく教室: 年4回実施。 ハッピー親子講座: 4回シリーズを年4回実施。 パパママ教室: 2回シリーズを年3回、日曜日に実施。</p> <p>4. 家庭訪問 妊産婦から乳幼児までの希望される方必要な方に訪問を実施。 赤ちゃん訪問は全数訪問実施。</p> <p>5. 予防接種事業 定期個別接種を実施。 BCG、4種混合、2種混合、MR1期、MR2期、水痘、 ポリオ(不活化)、日本脳炎Ⅰ期Ⅱ期、ヒブ、小児肺炎球菌、ロタ B型肝炎、子宮頸がん、風しん5期 風疹予防接種費用助成</p> <p>6. その他 フッ素塗布、養育医療給付事業、不妊治療給付事業の継続 実施。</p>
成人・老人保健事業	<p>1. 市民健診(各種健康診査、がん検診) 各がん検診と特定健診等のセット検診実施:23日間(内、休日1日) 歯周病予防健診:30歳から70歳の間の5歳刻みの方に実施 436人受診(受診率13.4%) 後期高齢者歯科健診:満75歳の方に実施(嚥下機能評価も実施) 46人受診(受診率15.0%) 骨粗しょう症健診:超音波による骨密度測定と栄養指導249人受診</p> <p>2. 健康教育、健康相談 CKD(慢性腎臓病)予防教室 2回 24人 糖尿病重症化予防事業(74歳以下)3人 市民健診結果報告会 26カ所 実592人 特定保健指導 積極的支援 5人、動機づけ支援 32人 その他出前講座 2回 延38人</p> <p>3. 各種運動教室 健康プール教室 22回×2コース 延498人</p> <p>4. 介護予防教室 はつらつ筋トレ教室 25回×2カ所、24回×2カ所 延1,418人 体力測定会 2会場 延86人 介護予防サポーター養成講座の開催 実13人 介護予防サポーター研修会 2回 延57人</p> <p>5. 受動喫煙防止対策・禁煙支援 禁煙相談会 2回 3人</p> <p>6. 精神保健事業 睡眠講座(明治国際医療大学共催) 基礎編・実践編 延42人 市ホームページ等での自己チェックシステム『こころの体温計』 アクセス数 延5,566件</p> <p>7. 予防接種 高齢者インフルエンザ 6,388人(60.0%) 高齢者用肺炎球菌267人(22.4%)</p> <p>8. 後期高齢者のフレイル予防 通いの場でのフレイル予防教室(低栄養・オーラルフレイル・ロコモ予防) 6カ所 延75人 後期高齢者の低栄養予防個別指導 10人 後期高齢者の糖尿病重症化予防個別指導 1人</p>	<p>重点目標⇒「ひとりひとりの健幸を高めよう」 ①糖尿病および糖尿病生腎症の予防 ②切れ目のない減塩指導で、高血圧を予防する ③健康づくりに向けた、運動習慣定着の推進 ④歯科健診の見直しと充実</p> <p>1. 市民健診 個別乳がん検診・個別子宮頸がん検診:5月～12月実施 個別特定健診・すこやか健診:5月～9月実施 *個別(医療機関での健診) 集団検診(特定健診・すこやか健診・肺・胃・大腸・子宮・乳がん検 診のセット検診):4月～5月 歯周病予防健診:7月～12月、30～70歳の5歳刻み節目 後期高齢者歯科健診:7月～12月、75歳対象 骨粗しょう症健診の実施</p> <p>2. 健康教育・健康相談 CKD(慢性腎臓病)予防教室 糖尿病重症化予防事業 市民健診結果報告会 特定保健指導</p> <p>3. 各種運動教室 健康プール教室:24回×2コース 運動教室 2回</p> <p>4. 介護予防教室 はつらつ筋トレ教室(75歳以上対象) 7～2月各地区にて週1回 体力測定会 介護予防サポーター養成講座の開催 介護予防サポーター養成講座修了生(元気アップなんたん)の支援</p> <p>5. 受動喫煙防止対策・禁煙支援 禁煙相談会:保健師と薬剤師による個別相談 2回 健康教室等で啓発物品配布</p> <p>6. 精神保健事業 睡眠講座の実施(基礎編、実践編) 市ホームページ等の自己チェックシステム『こころの体温計』</p> <p>7. 予防接種 高齢者インフルエンザ 高齢者用肺炎球菌</p> <p>8. 高齢者のフレイル予防 通いの場でのフレイル予防教室の実施 低栄養、糖尿病重症化予防の個別指導</p> <p>9. 情報発信 CATVで元気アップ体操、フレイル予防、感染予防等の放映 ホームページでの健康情報の発信</p>

事業	令和3年度まとめ	令和4年度計画
健幸都市プロジェクト関係	<p>1. 健幸アンバサダー養成講座 11月17日開催 受講者21人(R2:30人)</p> <p>2. 健幸ポイント事業 「なんたん健幸ポイント2021」(新規) 参加者453人 健幸都市応援事業所 6事業所</p> <p>R2年度まで実施していた紙ベースでの取り組みを、R3年度よりデジタル化。活動量計やスマートフォンを身に付けて、ウォーキングや健康づくりに関するイベントなどに参加することでポイントを貯め、貯めたポイントを商品券に交換できる仕組みづくりを行った。</p>	<p>1. 健幸アンバサダー養成講座 11月2日午後 開催 定員50人</p> <p>2. 健幸ポイント事業 「なんたん健幸ポイント2022」 定員1,000人 健幸都市応援事業所 7事業所</p>
献血事業	<p>安全で持続可能な血液供給体制を構築するための献血思想の普及啓発を継続的に行うとともに、計画的な献血者の確保をはかるための献血推進運動を実施した。</p> <p>また、献血時に骨髄バンク登録もお願いし、新たに48名の方が登録された。</p> <p><令和3年度献血及び骨髄バンク登録者実績> 実施回数: 23日間(25回) 実施場所: 国際交流会館 3回 シミズふないの里 2回 京都中部総合医療センター 2回 明治国際医療大学 2回 京都建築大学校 1回 日吉はーとぴあ 2回 市役所美山支所 1回 ジャトコ株式会社 2回 美山保健福祉センター 1回 京都府園部総合庁舎 3回 献血受付者:840人 献血実施者:751人(R2年度 706人) 骨髄バンク新規登録者 :48人(R2年度 33人)</p>	<p>赤十字血液センターの採血車による献血を20日間、25箇所を計画。このほか、全国的に展開される「愛の血液助け合い運動」や「はたちの献血キャンペーン」等と合わせて、広報紙等を通じて効果的な普及啓発活動を実施予定。</p> <p><令和4年度移動献血実施予定> 4月22日 国際交流会館 10月13日 京都建築大学校 5月16日 明治国際医療大学 11月25日 明治国際医療大学 6月10日 園部総合庁舎 12月22日 国際交流会館 6月22日 京都建築大学校 1月25日 ジャトコ株式会社 6月28日 美山支所 1月 マルホ発條工業(株) 7月14日 シミズふないの里 2月2日 南丹警察署 京都中部総合医療センター 8月24日 国際交流会館 3月14日 シミズふないの里 8月30日 マルホ発條工業(株) 京都中部総合医療センター 9月6日 南丹警察署・湖池屋京都工場 9月8日 ジャトコ株式会社 3月29日 日吉はーとぴあ 9月9日 日吉はーとぴあ 9月27日 園部総合庁舎</p>
食育推進事業	<p>◆食育の取り組み</p> <p>1. CATVで食育啓発⇒食育番組「おいしく・たのしく・ごちそうさま」で地域での食育の取組、レシピの啓発や、保育所・小中学校での取組情報をも1回放送</p> <p>2. 広報での食育啓発⇒「食は人づくり まちづくり」2カ月に1回掲載(CATVの内容と連動させ紙面からの啓発をおこなった)</p> <p>3. 「健幸食育レシピコンテスト」事業を地域と連携して実施 市内小学校6校・中学校4校より応募 応募数:417点の応募(小学校部門47点・中学生部門 370 点)</p> <p>◆栄養業務</p> <p>1. 乳幼児健診、子育て相談、離乳食教室、すくすく教室で栄養指導実施 (個別指導 延1,084人、集団指導 延119人)</p> <p>2. 市民健診結果報告会、骨粗しょう症健診時に個別で栄養指導実施。(延290人)</p> <p>3. 食事診断の実施と今後の課題 ⇒野菜を1日350g以上摂取する者の割合44.7% 塩分摂取量 男性1日10.5g、女性7.4g (目標:男性7.5g未満、女性6.5g未満) 今後も減塩についての取組み、啓発が重要である。</p> <p>4. 食生活改善推進員育成研修⇒5回43名参加</p> <p>5. 食育の啓発 健幸おやつレシピ作成(年4回発行:乳幼児健診、健康教育、健幸アンバサダー通信等で啓発:3,360人) ライン、ホームページにおいても啓発</p>	<p>◆食育の取り組み</p> <p>1. 食生活改善推進員育成研修・・・会員が健幸なまちづくりを目指し、地域での食育活動を実施できるよう育成研修を年5回計画実施する(7月、9月終了)</p> <p>2. CATVで食育啓発⇒食育番組「おいしく・たのしく・ごちそうさま」で南丹市食育推進計画の分野を広く推進する。</p> <p>3. 広報で食育啓発⇒「食は人づくり・まちづくり」2カ月に1回掲載。CATVの内容と連動させて啓発していく。 (内容:保育所、小中学校、地域での高血圧予防、減塩の取組み等)</p> <p>4. 「食育レシピコンテスト」事業の取組みで、地域・学校・各団体と連携し 実施(9月30日応募締め切り:応募数394点)</p> <p>5. 「健幸レシピ」の発行(年4回)</p> <p>6. 「免疫力をUPするレシピ」のライン配信(金曜日:11:30)</p> <p>◆栄養業務</p> <p>1. 特定保健指導・重症化予防における栄養指導の実施</p> <p>2. 食事診断の実施(バランス、塩分摂取量、野菜摂取量確認)</p> <p>3. フレイル予防(低栄養予防)のための栄養指導</p> <p>4. 乳幼児健診、子育て相談、離乳食教室、すくすく教室での栄養指導(個別指導、集団指導、訪問指導)</p> <p>5. 地域からの依頼による出前講座(サロン等)</p> <p>6. 食生活改善推進員育成研修(年5回開催予定)</p> <p>7. 食生活改善推進員との連携調整を随時行う</p> <p>8. 保育所栄養士、小中学校栄養教諭との連携</p>